

元気

まち物語

2013.11



ハートフリー下関

体験してみないと！

9月23日、車いす体験研修会に約30人が参加しました。研修会は、車椅子の操作方法を知り、まちなかで車椅子の方が何に困っているかなどを、身を持って学ぶことを目的に開かれました。

室内で車椅子の講習を受けた後、

実際に車椅子に乗り、ドリムシツプや海峡ゆめタワー、市内デパートに出掛けました。時間は90分と、たっぷりあるようですが、実際は移動に時間がかかりました。「大変なことがたくさん」「わずかな道の傾斜でも思うように進まない」「エレベーターに人がたくさんいると乗れず、何度も見送ることに。今度からはすすんで車椅子の方に譲ろう」など、参加した人は皆、たくさん気付きがあったようです。「誰もが出掛けやすいまちにするため、いろいろな気付きを皆で見つけて良くしていきたい」と、熱い思いを語り合いました。

地図に思いを込めて

「ハートフリーマップ」と名付けられた地図は、車椅子の方を含め、どなたでも気軽に買い物や観光がしやすいようにと作成されました。地図には、多目的トイレ、障がい者用駐車場、スロープ、エレベーターの位置などが記されています。「下関駅周辺」が、第1段として作成されました。今後は唐戸や長府地区も作る予定です。

みんなで考え一緒に行動を

下関のまちは、障がいのある人にとって、まだまだ厳しい現実が



あります。だからこそ、障がいのある人もない人も、手を取り合って歩み寄ることが大事なのです。研修会の終わりで、メンバーの池田ひでこさんが「少しずつ歩み寄っていきたい」と話しており、それうなずいていた参加者を見ると、「共に支え合う仲間」の顔になっていました。

「皆さんの一声一声が私たちの目指す『すべての人に優しいまち』には必要です」と、代表の山本千栄子さん。ハートフリー下関はこれから多くの方と一緒に、下関をよりよいまちにしていこうと決意を固めました。

●第4回車いす体験研修会

11月10日(日) 午前10時30分
唐戸市場2階会議室 料500円
☎235-9039

- ① マットを使い、段差での介助の練習中。介助する方は「上がりますよ」などと声を掛けることが大切です。
- ② 実際に車椅子でバスに乗ってまちへ。
- ③ 歩道へは段差のない場所を選ばないと、少しの段差でも自力で上がるのはとても大変。
- ④ 車椅子体験研修会に参加した皆さん。前列の左から4番目が代表の山本さん。

